

住民アンケート調査概要

【アンケート調査実施概要】

■調査対象

原村に在住する満18歳以上の2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

■調査期間と方式

平成26年10月1日（水）から10月20日（月）

※10月31日消印分までを有効回答とした

郵送による配布及び回収（アンケートは無記名回答）

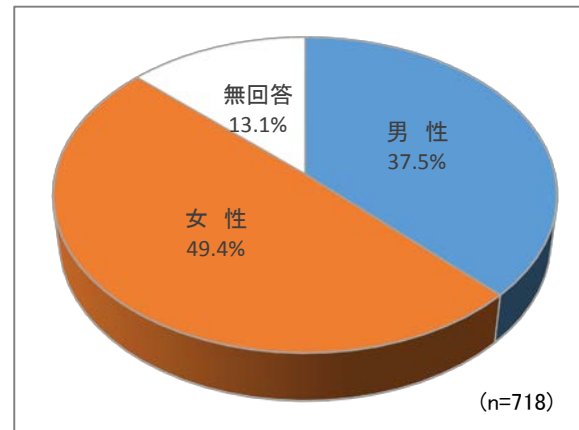
■回収結果

発送数	2,000人
回収数	720人（36.0%）
有効回収数	718人（35.9%）

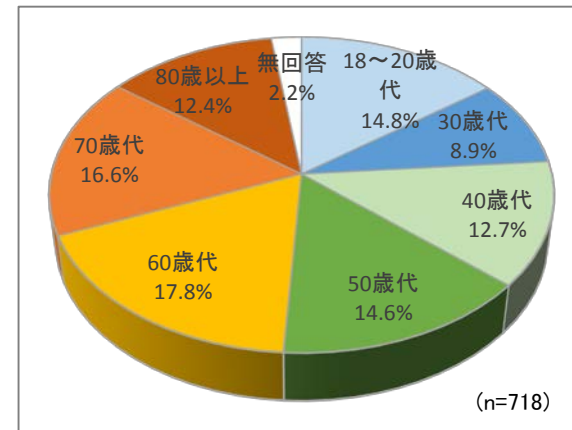
※有効回収数：無記述票を除いた集計対象数

【アンケート回答者属性】

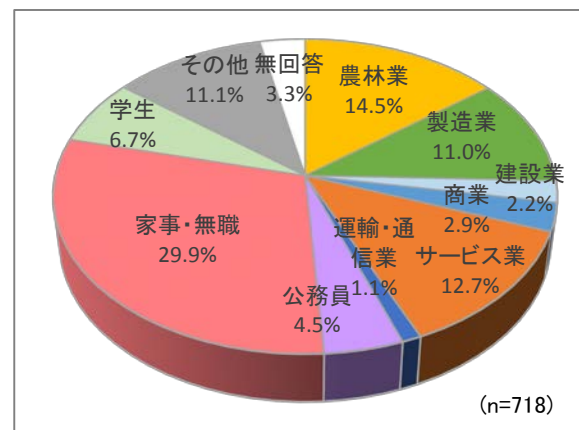
(1) 性別



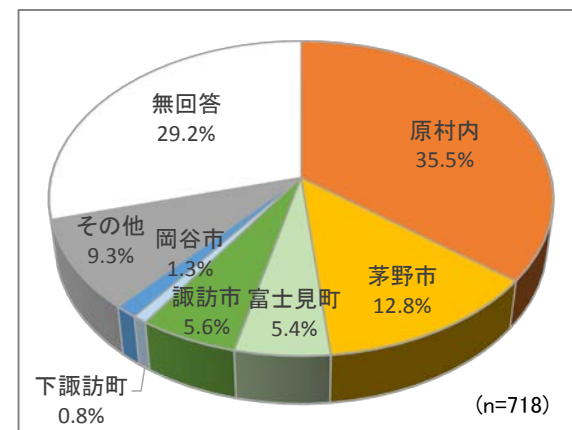
(2) 年齢



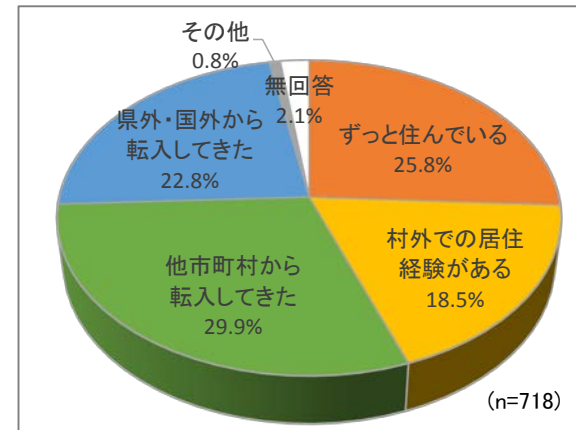
(3) 職業



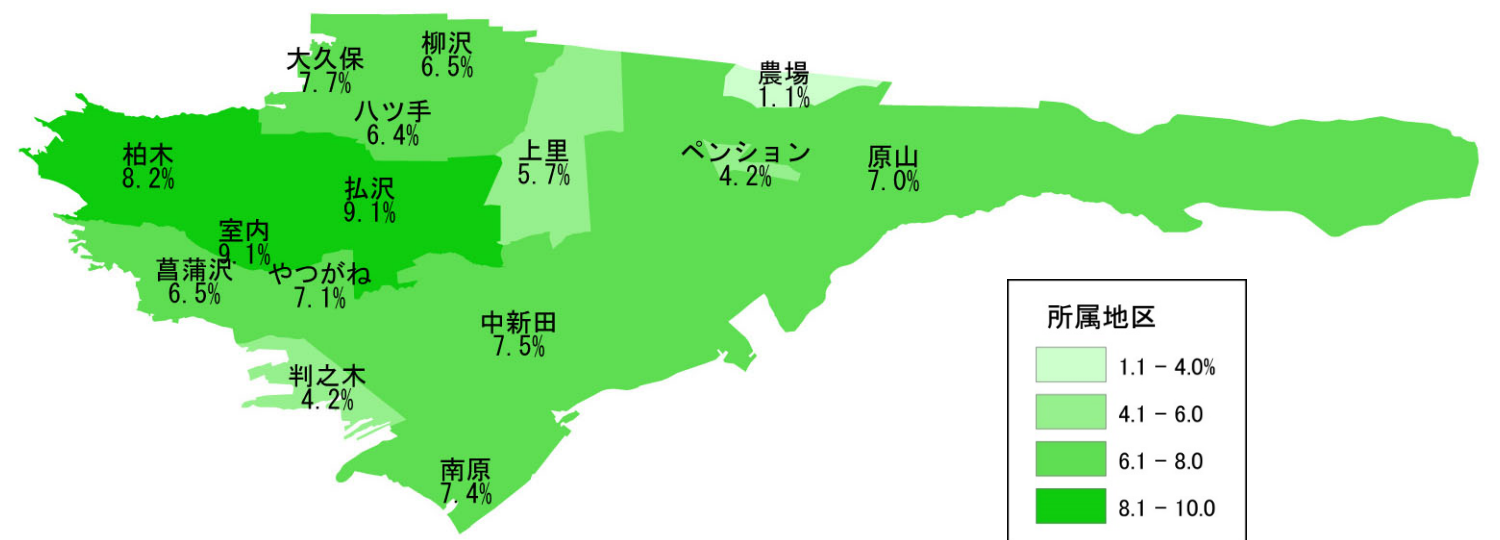
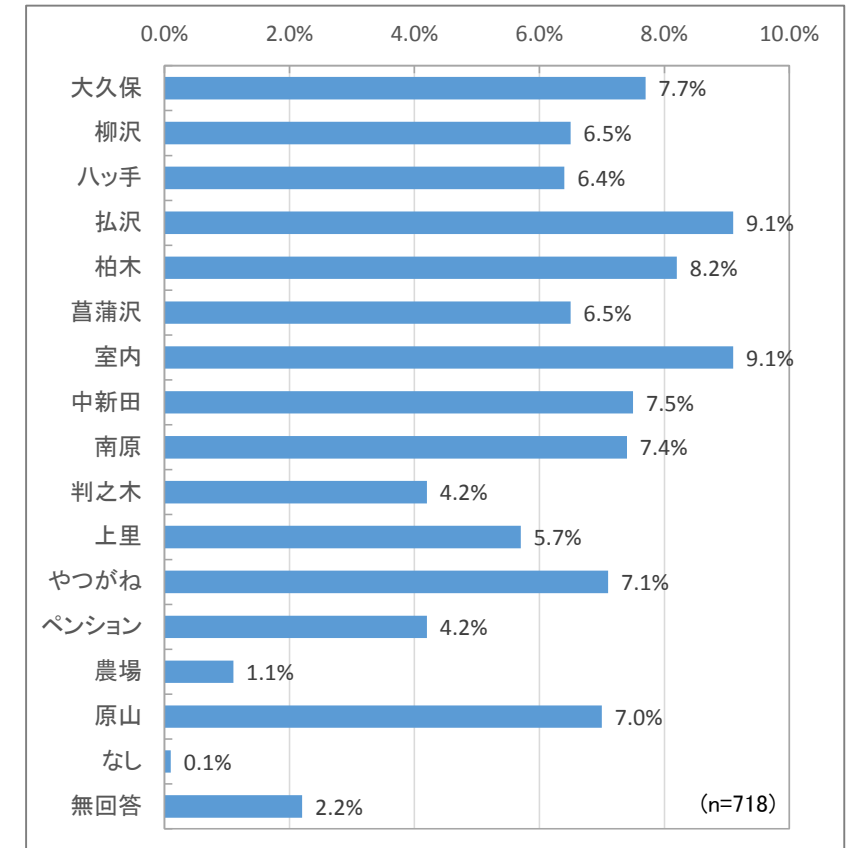
(4) 勤務先・通学先



(5) 出身地



(6) 所属地区

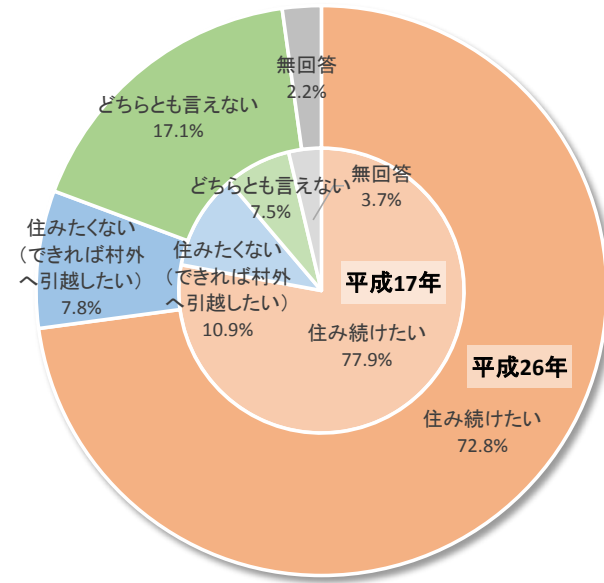


原村の暮らしやすさについて

「住み続けたい」72.8%、「できれば移りたい」7.8%・・・その理由【自然環境や景観が良い、医療・福祉等の費用負担が少ない、自然災害リスクが低い】／【買い物、通勤通学が不便、就労の場が少ない】

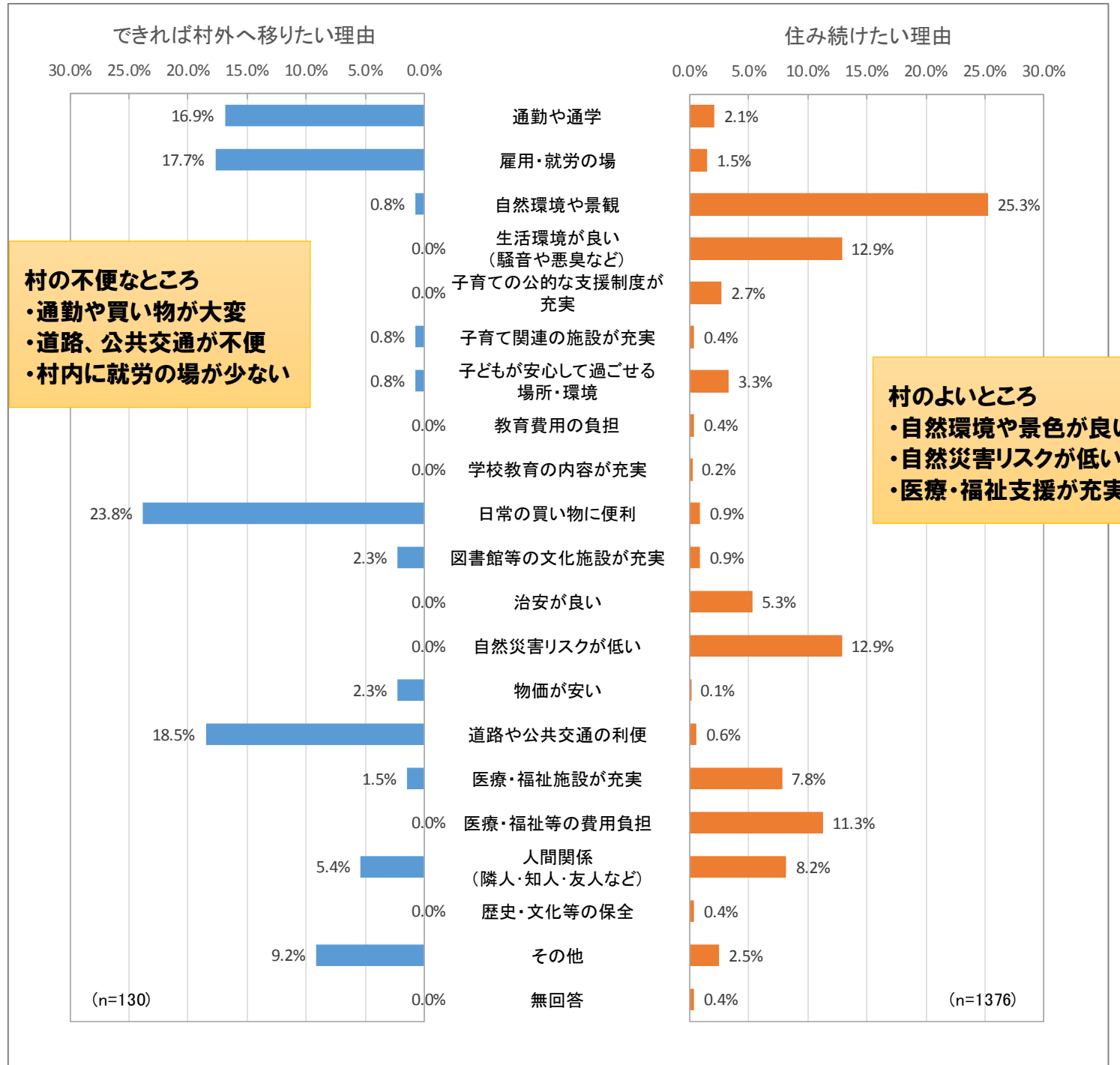
【あなたは原村に住み続けたいと思いますか】

当村における定住意向については、「住み続けたい(72.8%)」「できれば移りたい(7.8%)」と定住意向は高い結果でした。同設問で10年前と比較すると「住み続けたい」が5.1%、「できれば移りたい」が3.1%それぞれ下がりました。これに対し「どちらとも言えない」が9.6%増えており、住み続けたい意向が多い中で、改善すべき課題も生じているとみられます。



【住み続けたい(移りたい)理由】

住み続けたい理由は、「自然環境や景観が良い(25.3%)」で最も多く、次いで「自然災害リスクが低い(12.9%)」「生活環境が良い(12.9%)」「医療・福祉等の費用負担が少ない(11.3%)」となっており、当村の自然環境が魅力で住み続ける又は移住者が多いこと、「医療・福祉施策の充実」が評価されています。一方、村外へ移りたい理由では、「日常生活の買い物が不便(23.8%)」「道路や公共交通が不便(18.5%)」「雇用・就労の場がない(17.7%)」「通勤や通学が不便(16.9%)」となっています。



村の不便なところ
 ・通勤や買い物が大変
 ・道路、公共交通が不便
 ・村内に就労の場が少ない

村のよいところ
 ・自然環境や景色が良い
 ・自然災害リスクが低い
 ・医療・福祉支援が充実

属性		住み続けたい	できれば村外へ移りたい(村外へ移る予定)	どちらともいえない	無回答	回答数
性別	男性	78.8%	5.6%	15.2%	0.4%	(n=269)
	女性	69.6%	10.4%	19.2%	0.8%	(n=355)
年齢	18~20歳代	46.2%	23.6%	29.2%	0.9%	(n=106)
	30歳代	68.8%	9.4%	21.9%	0.0%	(n=64)
	40歳代	68.1%	9.9%	20.9%	1.1%	(n=91)
	50歳代	82.9%	4.8%	12.4%	0.0%	(n=105)
	60歳代	77.3%	5.5%	16.4%	0.8%	(n=128)
	70歳代	83.2%	2.5%	13.4%	0.8%	(n=119)
	80歳以上	89.9%	1.1%	9.0%	0.0%	(n=89)
職業	有職	78.0%	5.3%	16.2%	0.5%	(n=431)
	無職	68.8%	11.4%	19.4%	0.4%	(n=263)
勤務先・通学先	村内	78.8%	5.1%	15.7%	0.4%	(n=255)
	広域連合内の村外	67.7%	10.8%	20.4%	1.1%	(n=186)
	広域連合外	53.7%	20.9%	23.9%	1.5%	(n=67)
出身地	ずっと住んでいる	83.2%	5.9%	10.3%	0.5%	(n=185)
	村外での居住経験がある	68.4%	9.0%	21.1%	1.5%	(n=133)
	他市町村から転入してきた	68.4%	8.8%	22.3%	0.5%	(n=215)
	県外・国外から転入してきた	76.2%	7.9%	15.9%	0.0%	(n=164)
	その他	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	(n=6)
所属地区	大久保・柳沢・ハツ手	75.7%	7.4%	15.5%	1.4%	(n=148)
	払沢・室内	77.7%	8.5%	13.8%	0.0%	(n=130)
	柏木・菖蒲沢	70.8%	6.6%	20.8%	1.9%	(n=106)
	中新田	77.8%	5.6%	16.7%	0.0%	(n=54)
	南原・判之木・やつがね	72.4%	8.2%	19.4%	0.0%	(n=134)
	上里・ペンション・農場・原山	72.1%	8.5%	19.4%	0.0%	(n=129)

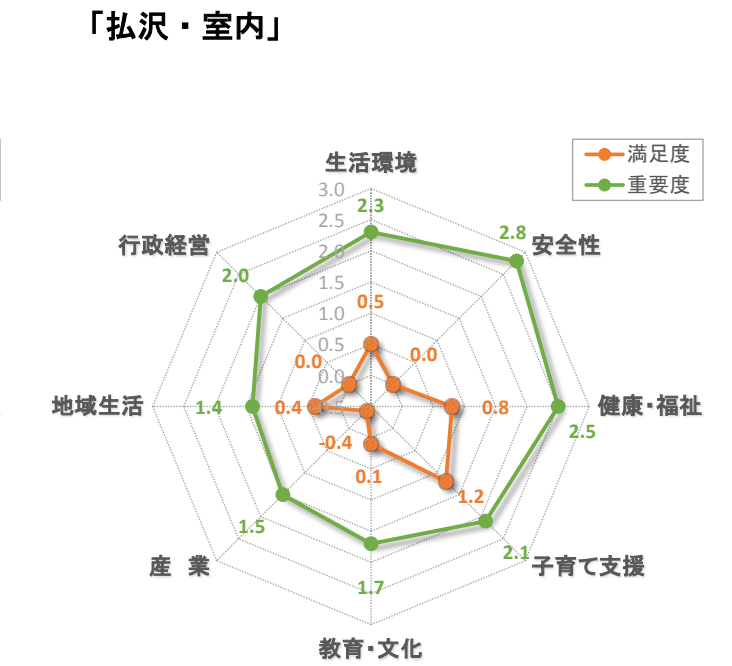
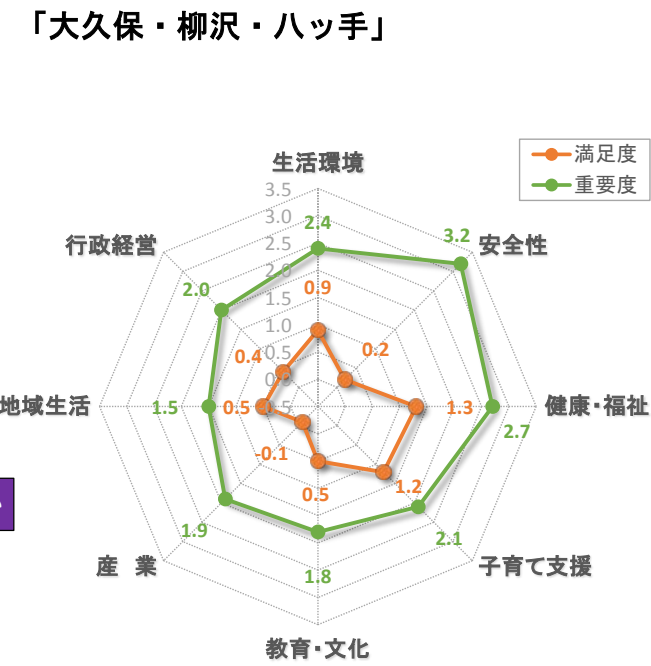
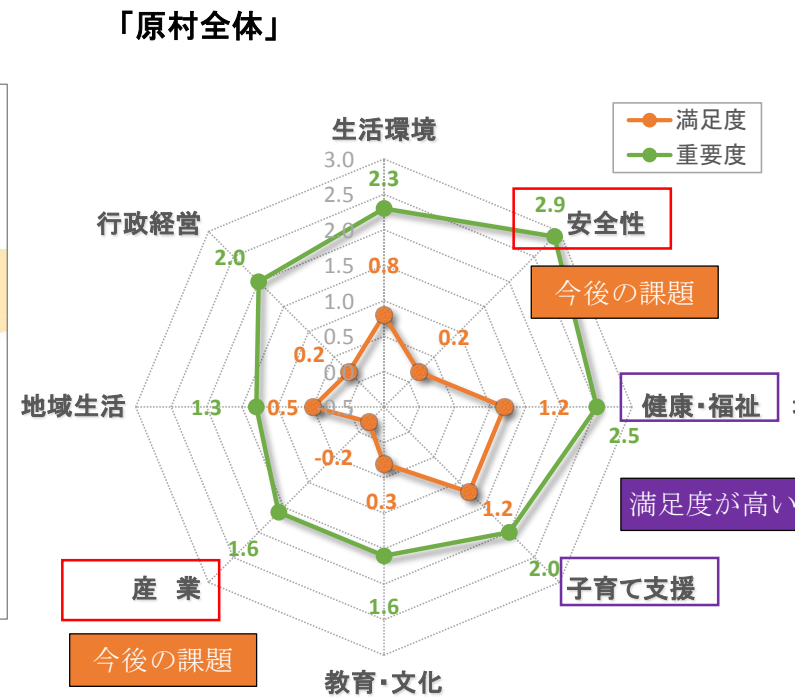
原村の現状と今後の取り組みについて

1. 現在の満足度と今後の重要度（必要度）について

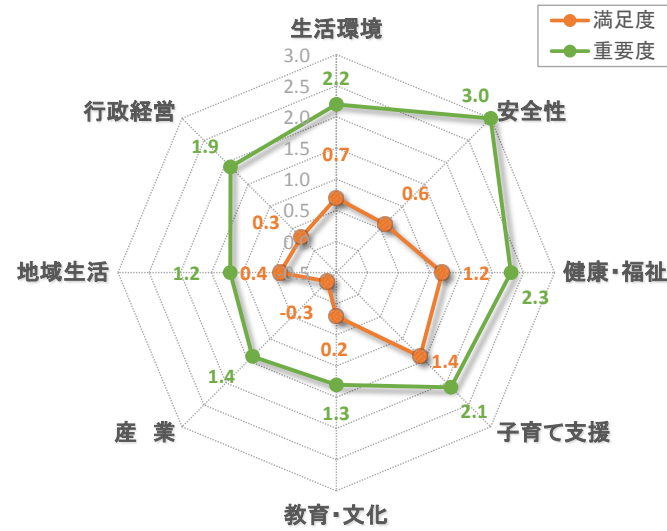
村全体をみると、「健康・福祉」「子育て支援」について比較的満足度が高い反面、「産業」「安全性」については、満足度が特に低い項目でした。

原村の特徴及びこれまでの施策から”ひと”を育む環境（健康・福祉、子育て支援、教育文化）は一定の成果をあげています。

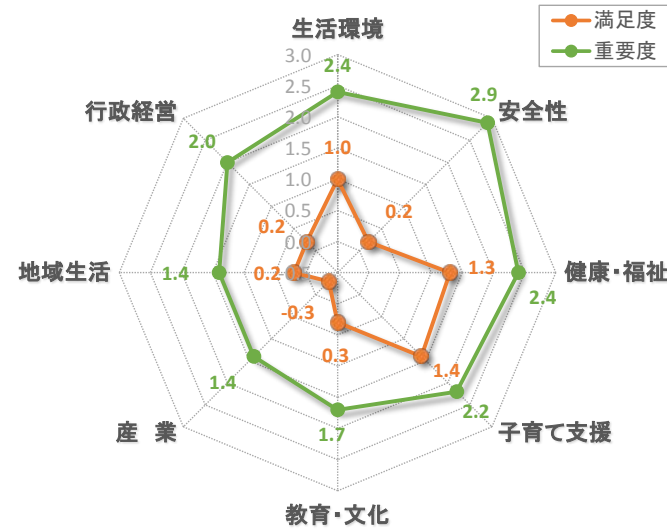
一方、評価が最も低い産業”しごと”に関する取り組み、農業への若者就業支援や原村内または諏訪圏域における雇用・就労支援と、安全・安心して住める”まち”づくりとして、日常生活を支える公共交通や買い物、交通安全対策などを重要課題として、第5次総合計画へ反映することが望まれます。



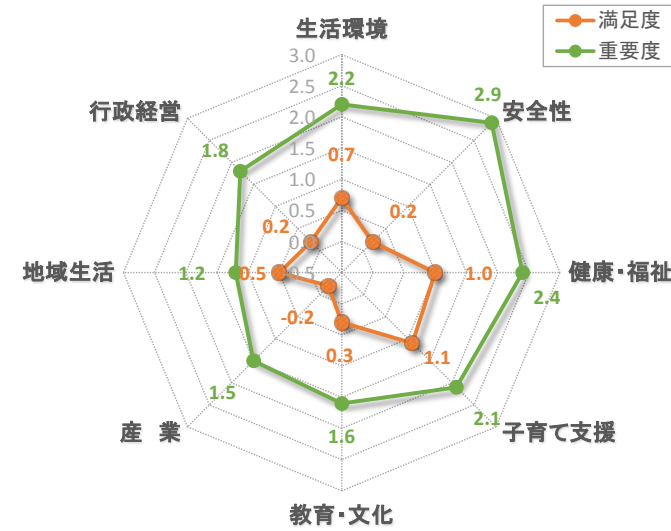
「柏木・葛蒲沢」



「中新田」



「南原・判之木・やつがね」



「上里・ペンション・農場・原山」

